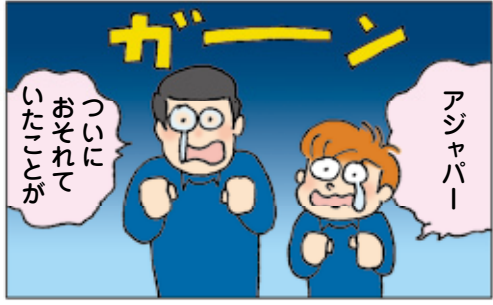
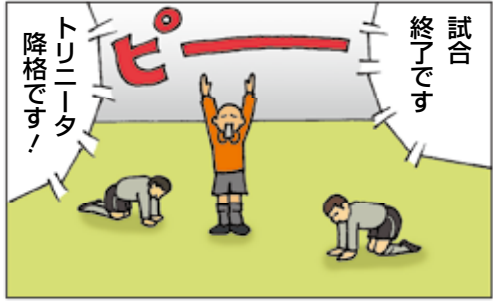


新ガッツだ おまかせくん!

小学校編 No.44



国東が生んだ世界の哲人
三浦梅園 その足跡と思想(その4)

哲学者梅園の誕生：『条理』開眼

『東遊草』の旅を終えた梅園は、やがて運命的ともいえる飛躍の時を迎えました。

「三十の年、始めて天地は気なりと心づきたり。」

『洞仙先生口授』：(弟子が梅園の講義を記録したノート)より
幼い頃からすべてに疑問を持ち続けてきた梅園が、この時初めて一つのよりどころとなる答えを探してきました。

「なぜ？」と問うことが哲学の出発点で、その「なぜ」に答える根源的な「答え」が哲学です。

「天地すべては(気)から出来ている。その(気)は、(条理)に従っているのだ」

「(気)とか(条理)」は、昔から中国や日本の学者たちも使った言葉ですが、梅園は、それを天文学・医学をはじめ、当時の最新の学問で裏付けたのでした。科学的、客観的に確かめられる事実と結びつけて「哲学」を作り上げた。ここに梅園の新しい、世界に通じ現代につながる偉大さがあるのです。

『多賀墨卿君に答ふる書』
「世界の真相を見極めたものは条理である。その条理の秘訣は、あらゆる物事を相対立する両方向から見ること(反観合一)、先入観を捨てること(捨心之所執)、現実を正しく見ること(依徴於正)である。」

「(気)とか(条理)」は、昔から中国や日本の学者たちも使った言葉ですが、梅園は、それを天文学・医学をはじめ、当時の最新の学問で裏付けたのでした。科学的、客観的に確かめられる事実と結びつけて「哲学」を作り上げた。ここに梅園の新しい、世界に通じ現代につながる偉大さがあるのです。



梅園自製の天球儀
問い合わせ 三浦梅園資料館 ☎0978-64-6311

伊美別宮社 流鏑馬

10月15日(木)、国見町伊美の別宮社で、烏帽子姿の射手が馬を走らせながら、的をめぐけて矢を射る「流鏑馬」(県選抜無形民俗文化財)が2年ぶりに行われました。五穀豊穡や無病息災を祈願する同社の秋季大祭行事で、江戸時代から行われています。今年の射手の堀田夢里さんが、走る馬の上から3カ所の的に向かって矢を放ち、見事に当たると、歓声と拍手がわきおこりました。

